

こころもからだも変わり始める
“10歳”男の子と女の子のイマを切り取る



10歳キラキラ白書 2020





10歳キラキラ白書

10歳という年齢は、からだに変化しはじめるだけでなく、「環境面」や「心理面」でも大きく変わっていく時期。また、世の中にあふれている情報にふれはじめることで、親世代との意識のギャップがでてくるころでもあります。

ワコールでは10歳の女子たちとその親世代に向けて輝かしい未来につながる大切なことを知ってもらう「10歳の未来プロジェクト」を2015年から行っています。

このプロジェクトの一環である「10歳キラキラ白書」では、ワコールのWEBサイト上で実施した意識調査をもとに、10歳の女子のイマを探り、理解を深めてきました。

10歳のリアルを知ることで、親と子が良好な関係を築けるように。そう願って、イマドキの10歳事情をご紹介します。








概要

2016年3月の発表から、
5年目となる今回の「10歳キラキラ白書2020年度版」は
10歳をより深く知るために“男子”にも注目。

目白大学の小野寺教授監修・分析のもと
10歳から14歳までの男女を対象に、WEBによる意識調査を実施しました。

特に10歳男女の特徴に焦点をあて分析を行ったところ、
“親子関係やジェンダー意識、さらには自己肯定感に違いがある”
ことがわかりました。

主な調査結果

-  10歳は、他のどの年齢群よりも男女ともにチャレンジ精神が旺盛！
チャレンジしたい気持ちの育成には母親・父親との関係が影響。
-  10歳男子は「男らしさ」を求める硬派男子だった！
でも、「女性が結婚・出産後も仕事を続けたほうがいい」
という考え方は男女にしっかりと浸透。
-  10歳では男子のほうが女子よりも毎日を楽しく過ごし、
自分の性別に肯定的。
そして男子は女子と比べると、自分のことが好き！

10歳キラキラ白書 2020年度版

成長期の女の子がいるおうちの方向け情報サイト
ガールズ親なび
https://www.wacoal.jp/oyanavi/10yearold_whitepaper/

小学生・中学生の女の子向け下着の悩みを解決するサイト
ガールズばでなび
<https://www.wacoal.jp/girlsbody/>

調査 概要

調査期間： 2019年8月～2020年1月

対 象： 5歳～18歳の女子 3,895名(10歳=436名)
9歳～15歳の男子 1,735名(10歳=254名)

方 法： インターネット調査

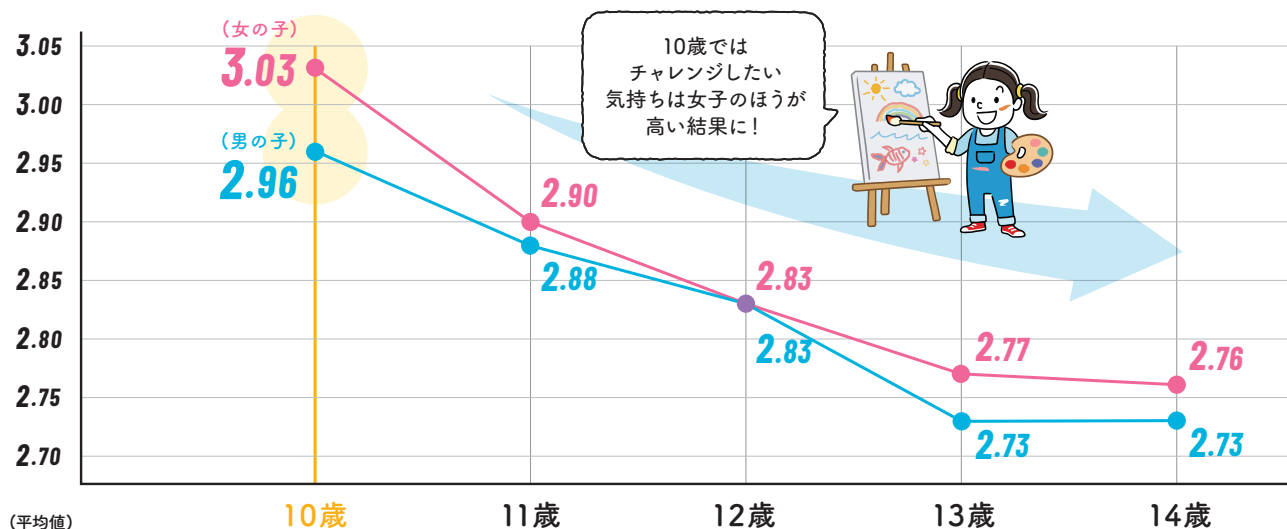


10歳は、他のどの年齢群よりも男女ともにチャレンジ精神が旺盛！
チャレンジしたい気持ちの育成には母親・父親との関係が影響。

◆ 10歳をピークにチャレンジ得点は下がっていく結果に。

「チャレンジするのは好きか」「失敗を恐れずにやってみようと思うか」という意識調査の結果を得点化し、平均値を算出。その数値を「チャレンジ得点」として10歳から14歳を比較してみると、男女ともに10歳がピークとなり、年齢が上がるとともにチャレンジしたい気持ちは下がっていくようです。

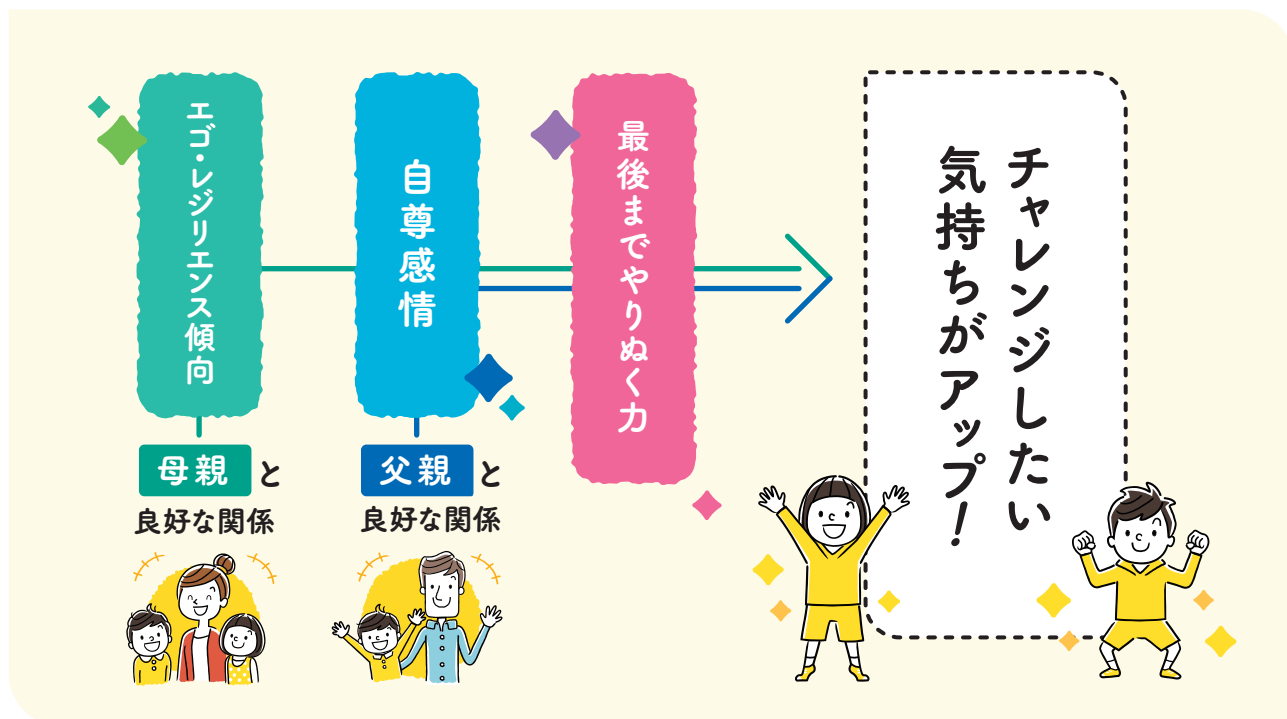
▼ 年齢別チャレンジ得点の変化



(平均値)

男女のチャレンジ得点の変化: 10歳 > 11歳・12歳 > 13歳・14歳

◆ 今回の調査では、10歳男女ともに母親との良好な関係がエゴレジリエンスや自尊感情を高め、最後までやりぬく力が育まれると、チャレンジ精神もアップすることがわかりました。10歳男子の父親との良好な関係性は、男子の自尊感情を高めていました。

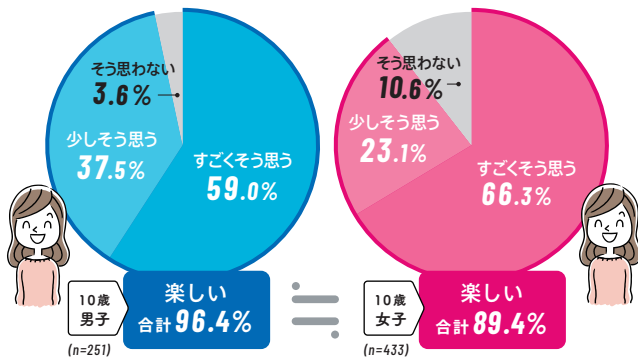


◆ **10歳では男女ともに母親との会話を楽しみ、悩みごととも相談する傾向に。**
父親との会話を楽しいと感じる割合は、女子より男子のほうが高かった。
10歳ごろになると、男子と女子で、父親との関わりに違いがあらわれてくる。

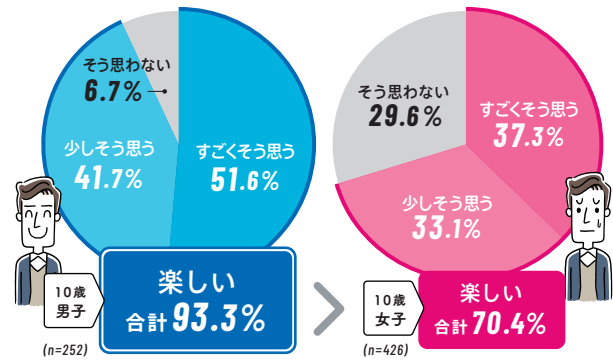
チャレンジしたい気持ちの向上に影響を与えている親子のコミュニケーション。会話の項目を見てみると、10歳は男女ともに母親との話を楽しみ、悩みごととも母親に相談する傾向がありました。

ところが、「お父さんと話をするのは楽しいですか?」の質問に、男子の9割以上と女子の約7割が「楽しい」と回答。「お父さんに悩みごとを相談をしますか?」の質問では、男子の3割以上、女子の2割以上が「相談する」と回答。女子より男子のほうが父親と楽しく会話をし、悩みごととも父親に相談している傾向がみられました。

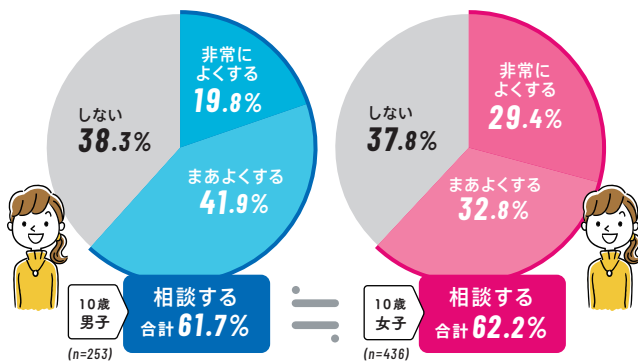
Q. お母さんと話すのは楽しいですか? (単一回答)



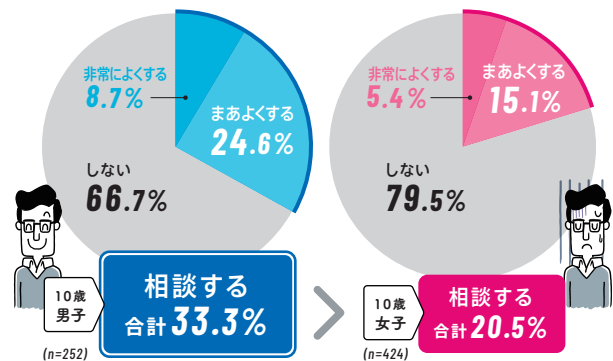
Q. お父さんと話すのは楽しいですか? (単一回答)



Q. お母さんに悩みごとを相談しますか? (単一回答)



Q. お父さんに悩みごとを相談しますか? (単一回答)



小野寺敦子 先生 コメント

大人になっても充実した生活を送るには、子どものころから、チャレンジしてみよう! やってみようという気持ちをもつことがとても大切です。



Topic

「エゴ・レジリエンス」とは?

嫌なことやメゲることがあったとき、柔軟に考えて対処する「自分を調整する力」のこと。エゴレジリエンスを高めると物事に対して好奇心をもって対応でき、嫌なことから立ち直る力もやしなえます。そこからポジティブな気持ちが育ち、やる気にもつながっていくのです。

Topic

「自尊感情」とは?

「自分は価値のある人間だ」「今の自分でいいんだ」「自分のことが好き」という気持ちのことをいいます。自尊感情を高めて自分を肯定的にとらえることで、「次に何かやりたいものを見つけてチャレンジしよう」という前向きな気持ちをもてます。



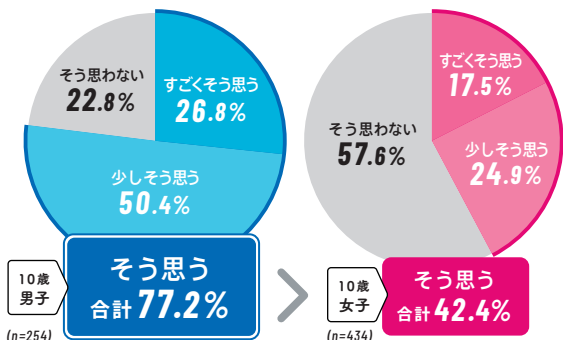
10歳男子は「男らしさ」を求める硬派男子だった！



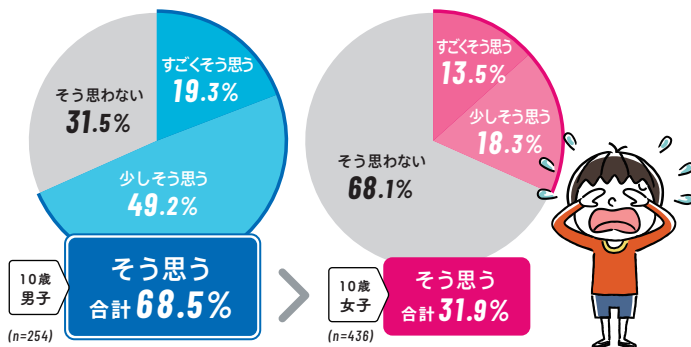
イマドキでも10歳男子は、「男らしくありたい」と思っている。

10歳の「ジェンダー意識(例:男子が人前で泣くのはかっこ悪いと思うなどの〈〇〇らしさ〉)」を調査したところ、「男子は男らしく、女子は女らしくするのがいいと思う？」という質問では、女子の半数以上が「そう思わない」と答えたのに対し、男子の7割以上が「そう思う」と回答。さらに、「男子が人前で泣くのはかっこ悪いと思う？」との問いにも、男子の約7割が「そう思う」と答えており、イマドキの10歳男子は意外と「らしさ」を意識していることがわかりました。

Q. 男子は男らしく、女子は女らしくするのがいいと思う？(単一回答)



Q. 男子が人前で泣くのはかっこ悪いと思う？(単一回答)



「女性が結婚・出産後も仕事を続けたほうがいい」という考えは男女ともにしっかり浸透。

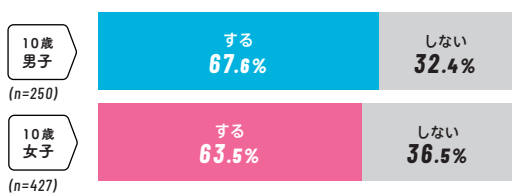


10歳男女ともに8割以上が「男子の家事参加」を当然だと考えている!!

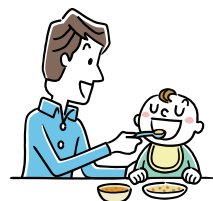
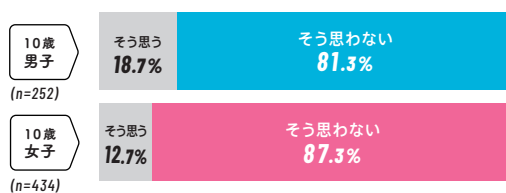
また10歳男女の7割以上が「女性が将来結婚して子どもが生まれても仕事は続けたほうがよい」と思っている。

「お父さんは家事をしますか？」と質問したところ、10歳男女ともに6割以上が「する」と回答。「男子は家事をしなくていいと思う？」という問いに、10歳男女の8割以上が「そう思わない」と回答。さらに「女子は結婚して子どもが生まれたら仕事をやめたほうがいいと思う？」の項目では10歳男女の7割以上が「そう思わない」と考えています。

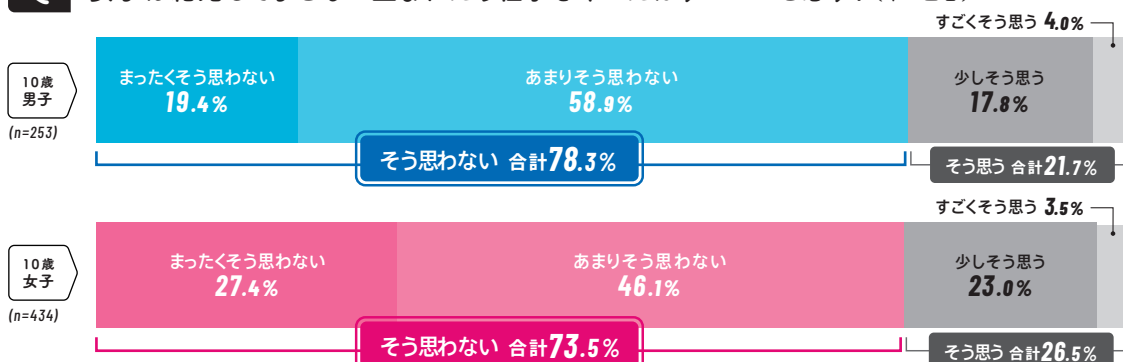
Q. お父さんは家事をしますか？(単一回答)



Q. 男子は家事をしなくていいと思う？(単一回答)



Q. 女子は結婚して子どもが生まれたら仕事をやめたほうがいいと思う？(単一回答)



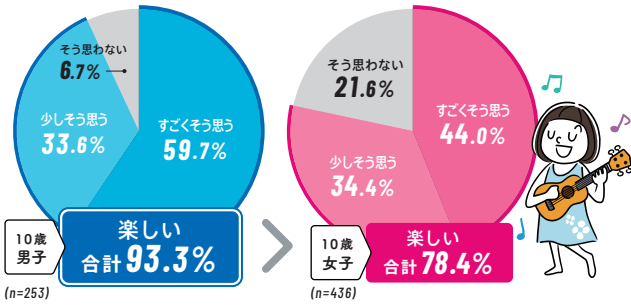


10歳では男子のほうが女子よりも毎日を楽しく過ごし、自分の性別に肯定的。
そして男子は女子と比べて、自分のことが好き!

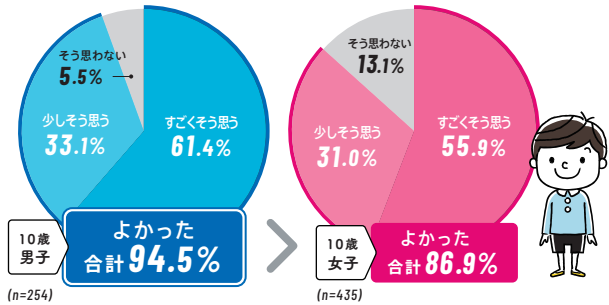
◆ 10歳男子の9割以上が毎日を楽しく過ごし、自分の性別にも満足している。

成長ともない、からだやこころにも変化がでてくる子どもたち。繊細な時期ですが、「毎日を楽しく過ごしていますか?」という問いに対し、10歳男子の9割以上、10歳女子の7割以上が「楽しい」と回答。また、男子の9割以上と女子の8割以上が「今の性別に生まれてよかった」とも考えています。また、男女を比較してみると、男子のほうが毎日をより楽しんでいることがわかります。

Q. 毎日を楽しく過ごしていますか? (単一回答)



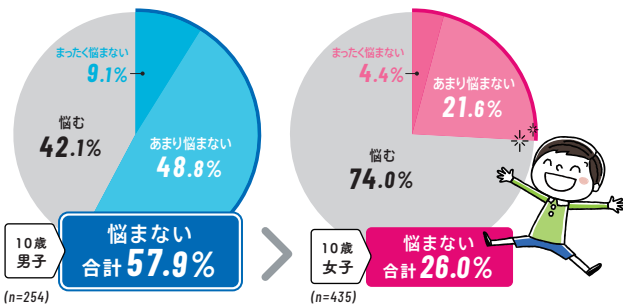
Q. 今の性別に生まれてよかったと思う? (単一回答)



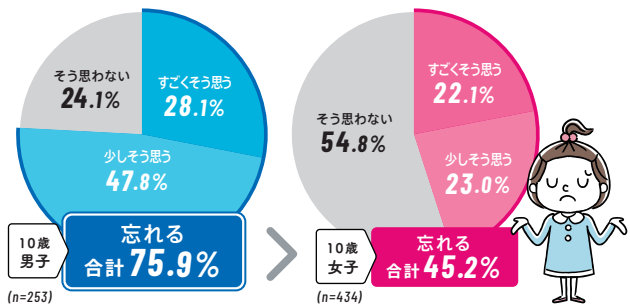
◆ 10歳女子は悩みやすく、嫌なことを忘れにくい傾向に。

一方、10歳男子は悩みにくく、悩んでも時間とともに忘れやすいことが判明!

Q. 嫌なことがあると悩みますか? (単一回答)



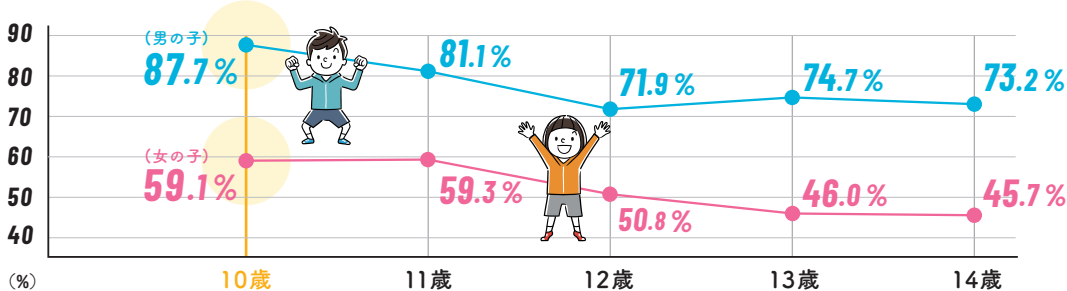
Q. 嫌なことがあっても時間がたつと忘れる? (単一回答)



◆ 10歳男子の約9割が「自分のことを好き」と回答する一方で、10歳女子は約6割にとどまった。

「自分のことが好きですか?」という問いに対し、10歳男子の約9割が「好き」と答え、約6割の女子と比較すると大きな差がみられました。また、年齢が上がるとともに「自分が好き」が下がっていく傾向は、男女ともにみられました。自己肯定感を下げないためには、親が子どものよいところを見つけてポジティブな声かけをしていくことが大切です。

Q. 自分のことが好きですか?



ポジティブな言葉をかけるなど、親子のコミュニケーションを大切にしよう!



(n=10歳~14歳10歳男子:1,288、女子:3,451)

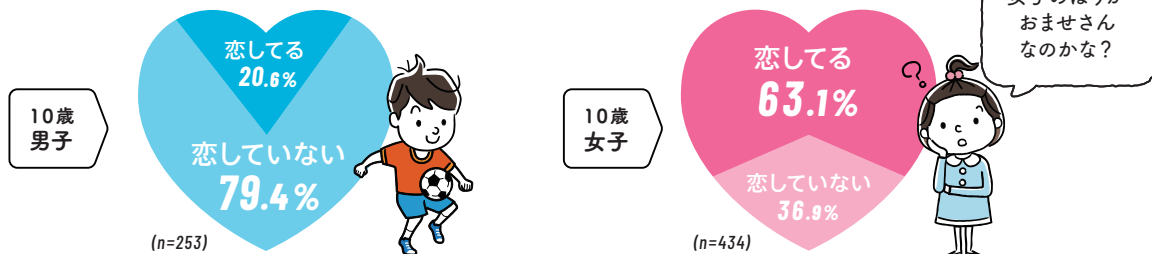
「自分が好き」の変化: 10歳 > 11歳 > 12歳・13歳・14歳

10歳 女子と男子のイマを知る!

恋愛

◆ 10歳の女子は6割以上が恋をしているのに対し、恋している男子は約2割にとどまった。

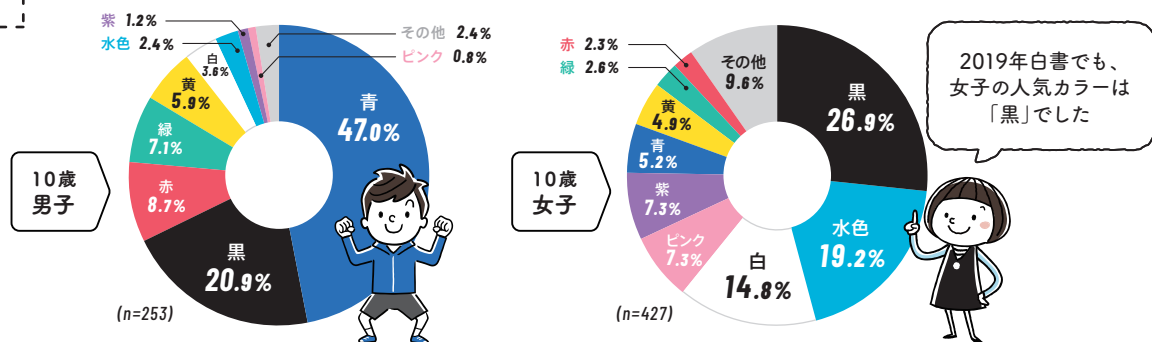
Q. 今、恋をしている? (単一回答)



好きな色

◆ 女子は「黒」、男子は「青」が一番好きな色!

Q. 洋服で一番好きな色は? (単一回答)



習いごと

◆ 習いごとは、勉強系に加えて男子は運動系、女子は文化系が人気!

Q. 今やっている、過去にやったことのある習いごとを教えてください! (複数回答)



小野寺敦子先生 総括

「10歳キラキラ白書 2020度版」では10歳男子にも調査を実施し、イマドキの10歳の全体像を明らかにすると同時に、男女の違いを浮き彫りにすることができました。まず他の年齢群の子どもたちに比べて、10歳の男女は「やってみよう!」「挑戦してみよう」という“チャレンジ意欲”が高く、自己肯定感も高いことがわかりました。また10歳の男女の違いを検討したところ、女子は父親のことを敬遠しはじめていましたが、男子は父親に好意的でした。さらに10歳男子は「男らしくありたい」という意識が強く、女子よりも日々の生活を楽しく過ごしていると思う傾向がありました。10歳の何事にもチャレンジしていきたいという意欲や自己肯定感を下げないためには、親や大人たちが子どものよい点を見つけて積極的にポジティブな言葉かけをしていくことがとても大切です。



プロフィール

小野寺敦子
先生

目白大学 人間学部 心理カウンセリング学科 教授

東京都生まれ。1984年東京都立大学大学院博士課程修了。
心理学専攻、心理学博士。専門は発達心理学、家族心理学。

【主な書籍】「パパのための娘トリセツ」(講談社)
「エゴレジリエンスでメゲない自分をつくる本」(一藝社)
「小学生のことがまるごとわかる55のキーワード」(金子書房)ほか

本件に関するお問い合わせ先

報道関係の方 株式会社ワコール / 広報・宣伝部
(京都) Tel. 075-682-1006 Fax. 075-682-1103

一般の方 株式会社ワコール / お客様センター
フリーダイヤル 0120-307-056 営業時間9:30~17:00 (土・日・年末年始・祝日をのぞく)